

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	小諸市役所					
代表者名	氏名	小泉俊博	役職名	市長		
主たる事務所の所在地	小諸市相生町三丁目三番3号					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	地方公務					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2733	2651	2619	2534	2747
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5722	5550	5467	5226	5689
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	102		101	94	85
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	158		153	151	120

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

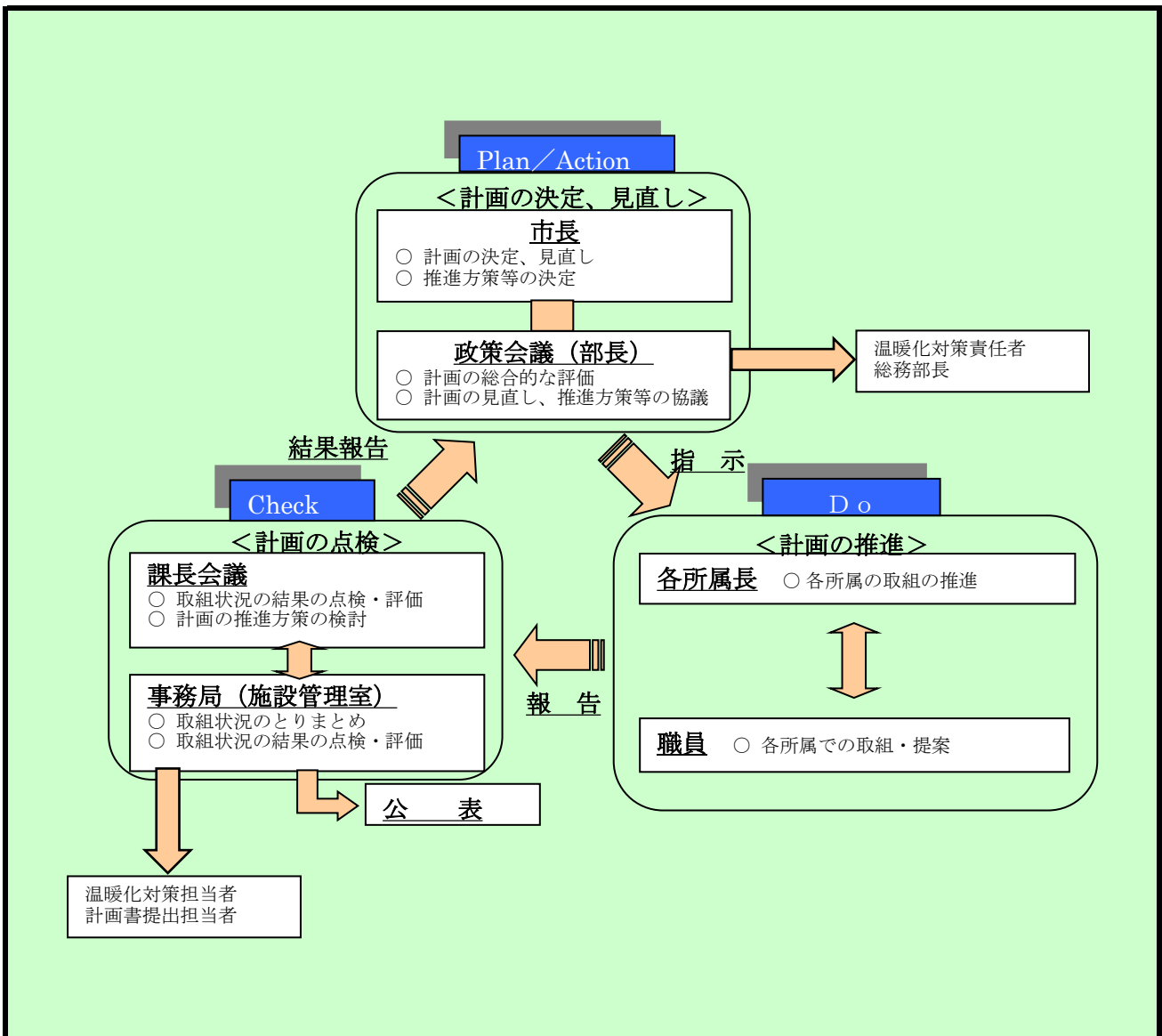
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.city.komoro.lg.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

温室効果ガスの排出状況から、主な排出要因である電気の使用の抑制に重点を置き、毎週金曜日をノー残業デーとし、早めの消灯を心がけ、業務時間外のエネルギーの消費を抑える。
廊下等の照明を部分点灯し、エネルギーの消費を抑える。
クールビズ、ウォームビズを徹底し、空調の使用を抑える。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

課長会議
必要に応じて随時開催する。

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,722	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	5,685	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	5,550	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.30	%		3.3
目標設定に関する説明	<p>上水道・下水道は使用量、あぐりの湯は利用者数、クリーンヒル（ゴミ焼却場）は処理量を原単位とすることで事業活動にかかるエネルギー消費を算出する。市機関は組織体制や利用実態が多岐にわたるため、延床面積とした。新市庁舎のエネルギー使用量、ゴミ焼却場のエネルギー使用量について年間の使用量データが集計できるようになったことから具体的な削減目標を設定する。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	5,467	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	5,422	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	4.45	%	削減率		%		4.2
排出量等の増減理由	<p>あぐりの湯、クリーンヒル（ゴミ焼却場）でのコスト削減によってエネルギー使用量が減少し、排出量が減少した。また、懐古園内の動物園が一時閉園していた期間があり、電気使用量が減少し、排出量が減少した。</p>							
第二年度	排出量	5,226	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	5,191	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	8.66	%	削減率		%		3.6
排出量等の増減理由	<p>温浴施設である「あぐりの湯」が大規模改修のため3カ月休館していたことからエネルギー使用量が減少し、排出量が減少した。</p>							
第三年度	排出量	5,689	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	5,642	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	0.57	%	削減率		%		-1.8
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>8月に発生した浅間山小規模噴火、10月に発生した令和元年東日本台風による災害対応、復旧作業に長期間にわたって職員が時間外勤務、休日勤務を行い、電気のエネルギー消費量が増加し、排出量が増加した。また、上水道の頻発するポンプ故障の復旧作業、下水道施設が台風の停電復旧に多くの電気を使用し、排出量が増加した。3年間で3%の削減目標に対して0.57%の削減で目標は達成できなかった。</p>							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	158	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	153	t-CO ₂	削減率	3.16	%
29年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	151	t-CO ₂	削減率	4.43	%
30年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	120	t-CO ₂	削減率	24.05	%
31年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110101推進体制の整備	29	50	29	50
2	エネ起	110401エネルギーフローの管理	29	50	29	50
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
特になし						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	37		45	35	47
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	6	5,722	6	5,467	6	5,226	6	5,689
合計	6	5,722	6	5,467	6	5,226	6	5,689

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	2	3	3	2
合計	2	3	3	2
自動車総数	102	101	94	85
次世代車導入割合	2	3	3.2	2.4

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	該当せず
その他	該当せず

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	長野県が主体となって実施された「県下一斉ノーマイカー通勤ウイーク」に賛同し、9/20に全職員を対象に公共交通機関、徒歩、自転車での通勤を呼び掛けた。
公共交通機関の利用促進	該当せず
来客者の交通対策	予約制相乗りタクシーの「こもろ愛のりくん」、定時定路線運行ワゴン車の「愛のりすみれ号」などの環境負荷が少ない交通手段の利用を呼び掛けている。
物流の合理化	該当せず

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001 (環境マネジメントシステム)	平成12年
2	小諸市役所地球温暖化防止実行計画	平成17年
3	小諸市役所地球温暖化防止実行計画 (改訂)	平成26年
4	小諸市役所地球温暖化防止実行計画 (改訂)	平成30年

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし	
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの夜間電力を利用した蓄熱槽へのエネルギー充填 隣接する病院との蓄熱槽を利用した熱融通 雨水をトイレ用雑用水、花壇への散水へ利用することによる上水道利用量削減 	
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの夜間電力を利用した蓄熱槽へのエネルギー充填 隣接する病院との蓄熱槽を利用した熱融通 雨水をトイレ用雑用水、花壇への散水へ利用することによる上水道利用量削減 	
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの夜間電力を利用した蓄熱槽へのエネルギー充填 隣接する病院との蓄熱槽を利用した熱融通 雨水をトイレ用雑用水、花壇への散水へ利用することによる上水道利用量削減 	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他	該当せず	